

# 北海道自然史研究会 2009 年度総会 議事概要

2010 年 2 月 27 日

事務局／さっぽろ自然調査館・渡辺修

## (1) 会計報告・会費徴収

### ○事務局提案

2007 年度・2008 年度会計について報告した。

会費については、インターネット上での活動と大会開催が中心となっているため、徴収の必要性が低くなっている。そのため基本的には徴収せず、大会での費用等については、参加費として徴収することを提案した。

それに伴い、会則を以下のように修正する。

第14条 この会の経費は、寄付金等をもって当てる。

第15条 この会の会費は、徴収しない。

### ○意見・決議等

提案が了承された。

## (2) 事務局運営

### ○事務局提案

現在電子メールによる案内へ切り替えを進めており、次回以降は原則郵送連絡を廃止とする。

### ○意見・決議等

提案が了承された。

## (3) 役員役割明確化

### ○事務局提案

現在役員に関しては特に定まった役割はないが、大会の開催に関しては、開催地と連携して運営を担当する理事を明確化したい。会計・名簿管理・サイト管理・情報伝達などは、引き続き事務局が担当する。その他必要に応じて、役員会で担当理事を決める形としたい。

### ○意見・決議等

了承された。

## (4) 研究大会について

### ○事務局提案

大会は札幌開催を基本とし、開催時期も固定したい。ただし、地方からの希望があれば随時その地方で実施する。会場は札幌市博・北大博物館、時期は2～3月を基本に検討する。

次回大会は2011年3月8～12日に開催される生態学会本大会に合わせて北海道の自然史に関する自由集会を開き、それと連動する形で開催したい。また、以前から石狩での大会開催が検討されており、2010年夏か2011年夏にフィールドでの活動を含めた大会を検討したい。

### ○意見・決議等

札幌開催を主とすることについては了承された。具体的な開催体制については、役員で検

討する。

- ・生態学会との連動は、参加のしやすさと全国の自然史関係者との交流、市民へのアピールを目的としている。自由集会は2時間の規定のため、開催方法は検討する。
- ・自由集会も大会参加費が必要で、学生等にはハードルが高くなってしまう。
- ・自由集会は参加費不要と思われるが、現状を確認する。場合によっては、時期のみ合わせて、北大などでサテライトで開催することも検討する。

## (5)ウェブサイトの設置

### ○事務局提案

博物館などの施設のポータルサイト、研究報告などのデータ蓄積、情報交流の場として、ウェブサイトの構築を提案したい。展示施設・研究報告のデータベース化、ウェブ化の現状については整理してきているので、さらに情報収集に努めるとともに会員の協力を仰ぎたい。

### ○意見・決議等

提案が了承された。

## (6)研究報告誌等の発行について

### ○事務局提案

自然史の報告を出す場が減っているため、場を作るとともに情報の蓄積していくため、論文誌の定期的な発行を考えている。そのため、今後の一年でニーズの調査や方針の確定等を進める編集（準備）委員会を設置することを提案する。

また、ハンディサイズで学習用に広く使える小冊子を刊行していくことも検討しており、その検討を進めるワーキンググループの設置も提案したい。

### ○意見・決議等

提案が了承された。各種委員会などについては、参加方法・会合について事務局からメーリングリストで連絡する。

## (7)役員改選について

### ○事務局提案

保田会長、宇野理事から退任の希望があり、また事務局としては運営面の強化を図るために、札幌圏で運営に携われる役員を選任したい。

- ・川辺副会長を会長とし、古沢仁氏を副会長とする。
- ・会員の持田誠氏、志賀健司氏を理事とする。小宮山理事・大原理事・齋藤理事・浦理事・山崎監事を再任する。渡辺事務局長・丹羽事務局次長を再任する。
- ・大原理事の監事職兼務を解いて、新たに内藤華子氏を監事とする。

### ○意見・決議等

提案が了承された。

#### <事務局連絡先>

さっぽろ自然調査館 wata-os@cho.co.jp

メーリングリスト natural-h@cho.co.jp

〒004-0051 札幌市厚別区厚別中央1条7丁目1-45 山岸ビル3階

Tel 011-892-5306 Fax 011-892-5318